

定刻になり、司会は北海道・東北ブロックの加藤晴喜氏の司会進行により、総会参加者百十名、委任状参加三十六名により総会成立したことが報告され、小島副部会長の開会宣言に続いとて高橋誠部会長の二年間にわたり部会長としての想い待を込めた挨拶があった。

事の大崎和生氏より総会開催の御祝と青年部会の未来へ繋ぐ活力のある祝辞を賜わった。最後に北海道・東北プロック長の田中秀穂氏を紹介し、有村治子参議院議員の祝電報告の後、議長の選任では会場より司会一任の意見により北海道・東北プロック福島県文部の上原和直氏が就任し、議長は議事録署名人を眞鍋憲太郎



号議案の一括採決を行ひ賛成多数で承認された。

決まつた事を起
告した。
第六号議案 次
回開催地につい
て
平成二十七年
度通常総会を開
西ブロックでの
開催を賛成多数
で承認した。
以上の議案を終
もつて総会を終

青年部会・平成二十六年度 通常総会を北海道で開催

青年部会・平成二十六年度通常総会は、北海道札幌市のJRタワーホテル日航札幌にて二月四日（火）十三時より開催された。

会水城清志会長が、先般の
協会総会のお禮の言葉と植
木協会を取り巻く環境問題
を説明し、また、協会と青
年部会の共同事業ともいえ
る緑育出前授業、生産数量
調査、ビジョン検討委員会
等に対する協力と理解に感
謝の言葉など、力強い挨拶

<img alt="A photograph of a formal meeting room. In the center, a man in a suit stands behind a podium with a Japanese flag and a logo for the Japan Cypress Association. The room is filled with rows of black upholstered chairs facing the front. A banner above the stage reads '平成26年夏 一般社団法人日本檜木協会青年部会通常総会' (Planned Meeting of the Younger Generation of the Japan Cypress Association). The text below the banner includes '号議案の一括採決を行ひ賛成多数で承認された。' (The entire proposal was adopted by a majority of those present), '第三号議案 平成二十六年度事業計画案について' (Proposal for the third item, the annual business plan for the fiscal year 2014-2015), '高橋誠部会長より組織の拡充・活性化、組織の強化、研修の充実、PR活動の推進、本協会事業への参りもって総会を終了しました。' (President Takahashi announced the expansion and activation of the organization, strengthening, training, promotion of PR activities, and participation in the association's activities. The meeting ended with a vote of thanks), and '第六号議案 次回開催地について' (Proposal for the next host location).</div>

枝・葉クイズ バラ科シャリンバイ属
こたえ⑤ シャリンバイ [圖]

Rhabdolania indica var. umbellata

● 堂緑高木

5m程度 樹形は球形(本州、四国、九州、濟州島で自生)

● 特徵・特性

葉は長さ4~8cmの長楕円形または狭倒卵形。先は鋭頭または鈍頭で、基部はくさび形または切形。縁は全縁または鈍鋸歯がありやや外反する。革質で表は濃緑色でやや光沢があり、裏は淡緑色。両面ともはじめ毛があるが後に無毛。暖地の海岸に生息する。

5月に花を咲かせ、10~11月に結果する。

● 利用法

用法
庭園樹、公園樹、
海岸植物、生垣、漆樹



『鑑定図鑑 日本の樹木一枝・葉で見分ける540種』
(二川・曾根) 1997年1月発行
文部省選定「科学技術出版物」優秀賞受賞
学術出版社
ISBN 4-88256-020-2
pp. 220

直営農場でシマトネリコ 30,000 機

**タマリュウ
60,000 マット**
7ha生産中



タマリュウ・シマトネリコ生産販売

タマリュウジャパン
タマリュー・東京駅便て

いつでも・どこへでもお届けします。
●ご注文はホームページ、
電話・FAX・メールでも承ります。

F 893-0013
鹿児島県鹿屋市札元2丁目 3727-2
TEL : 0994-44-6993
FAX : 0994-44-6996
URL <http://www.tamaryu.jp/>
E-mail : net-shop@tamaryu.jp

ウエキノミライ

本業界の歴史、変遷について叡智を持ったキーパーソンの言葉から、未来を切り開く手がかりを探ります。

『ウエキノミライ』

小林公成氏
(有)小林養樹園・東京都

『今、植木生産・流通業界の未来を切りひらく術はどこにあるのでしょうか』との問い合わせに、即座に「これです」と応えられる人は多くはないかと思います。

占い師でもなく予言師でもない私にとっては将来を見越せる能力も見聞力もありません。

だからこそ、これまでの厳しいこの業界、そして弊社の経営の中で、どうすればこの時期を脱することが出来るのか、何が将来に向けて必要なのか、などなど考えない日はありませんでした。これは業種を問わず、私のみでなく経営に関わる者にとって至極当然の行為であると思います。

ただ時折、これまで我々の業界の中では当たり前とされてきた常識が徐々に変わってきていて、我々の手に届かない範囲に様変わりしていることに気付かないでいて、未だこれまでと同じ次元で今の状況を、そして将来を見ているのではないかと、自ら疑心暗鬼になることがあります。思い起こすとこれまでに我々の業界の中でも過去いくつか我々は今まで良いのかと不安に駆られた事柄が何度かありました。

20年ぐらいのことだったと思いますが、「ビオトープ」という言葉を聞くようになって、自然環境や生物の生息空間などを保全、再生したりすることが高度成長で荒廃した国土を潤いのある街や里に創造することが出来るとの考え方から河川だけでなく都市の庭園づくりの中でもこれらの手法で造園が行われるようになりました。



このとき協会員の一部の方は、地被（グランドカバー）材料の生産の経験をビオトープに活かさなくてはならない、早く手を挙げて主導権を握り植物提供者としてリードをしなくてはならない、と主張される方もいました。しかし、この意見は大きな形とならず結果的に土木や建築業界に遅れをとって、我々としては材料を提供するだけの小さい立場になってしまったことがあります。

また、「屋上の緑化や壁面の緑化や空間の緑化」が都市の環境回復やヒートアイランド現象の改善などに効果があり、都市緑化の一翼を担い、都市空間の緑化としても有効であるなどと脚光を浴びている中、我々の業界は「ビオトープ」が呼ばれた時と同じく、主導権を握ろうとの運動も大きい力にはならず、施設関連の業者や都市の新しい造園をめざす業者らが中心となって独自の研究と技術を確立して足場を固め、ひいては我々の業界をも席捲されている状況です。

これらのこと改めて振り返ってみると、これまでになかった新しい事業や流れをいち早く理解して将来の取り組みや対応策を考え、新しい造園や事業に乗り遅れてはならない、という考えを開拓者とともに理解して、共に歩むことも必要だったのではないか、と思います。そして、それらの新しい考え方や技

術の後れをとらないというより、緑花に関わってきた我々が更に大きくなりードし、これまでになかったものを作り出していくんだ、という強い志が必要ではなかったかと思います。

屋上緑化や壁面緑化の場合などは、他業種がいち早くセダムや芝や植物マットを活用して施工が簡単、省管理で安価であるという謳い文句で参入してきたのに対して、我々業界は「あれは上手くいかない」とか「普及しない」とか「細かいことで対応が出来ない」とかいろいろ評論はしたけれど、大きな行動にはなりませんでした。

先を見る力や見識も必要ではあるけれど、それとともに新しいことをなんとしても作り出してやろう、という強い意欲というかやる気が必要であったのかなと思います。

しかし、このような状況の中でも一部の仲間は先見的に行動を起こし取り組んだことが功を奏して今では大きな実績を上げている会員もいます。

このように時代を先駆けてというよりも、過去の時代の考え方から離れられずに新しい分野に飛び込んでいけない方々が私を含めてまだ多くおられると思います。

首題の、将来何が変わって何をすれば良いのか、ということになると再び頭を抱えることになりますが、造園業界でもいま民間の個人住宅や集合住宅の緑化工事などは、従来の造園業から花をはじめ色彩を取り入れたいわゆるガーデニングを施工する女性や若い方たちが造園業者に替わって受注する場面が多くなったと耳にします。

これはプランの提案力や草花をはじめ造形物のガーデンアートなどを加えた幅広いお客様のニーズに対応した提案や作業を積極的に行うことで、お客様の要求を満たしているから、とのことです。

バブルがはじけて約25年間、我々生産をする業界にも様々な流れがありました。

イギリスのガーデン手法で人気になったガーデニングブーム、続いてコニファーブームが起こり全国で多くのコニファーが生産された時もありました。

新樹種生産でオリジナリティをめざしたり、民間需要に呼応して多品種少量生産をめざしたり現在も様々な努力と研鑽を重ねている方たちが多くいます。このような方の努力が実りあるものになるにはどうしたらよいか。

今年になって全国の生産地で品不足の声が大きくなり、3月の需要ピーク時には売る品物がなくなるのでは、との懸念があちこちから聞こえてきます。東京でオリンピックが2020年に開催されることが決定したことと相俟って、これまでとはちょっと違った業界の雰囲気になってはいますが、果たしてこれで

業界全体が息を吹き返すものなのか、

植木や地被類の値段が上がるものののか、

再び生産が復活するもののか、

などと、思い巡らせてみても、これも先のことだけに誰にも判りません。

結局、自分の決意と決心で腹を括って目標を立て進むしかない、との結論に至りました。



ご案内

「樹木識別のポイント講習会」参加者募集

植木園場から教室に生きた樹木の枝葉を持ち込んで、似ていて間違えやすい樹種を葉と枝だけで見分けるポイントを学びます。樹木識別のスペシャリストを目指す方に是非おすすめです。

また、この講習に参加する協会員の受講料については1社園1名分を協会で助成します。ぜひ、この機会にご参加ください。

記

樹木識別のポイント講習会

1. 日時、会場場所：

平成26年6月14日(土) 13~16時
日比谷公園 緑と水の市民カレッジ(2階 大教室)
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-5

2. 講 師：環境緑化樹木識別検定実施委員長

川原田 邦彦氏ほか

3. 費 用：¥5,000-(協会員1社園につき1名まで受講料無料)

4. 定 員：50名(先着順)

※この講習会は、造園CPDプログラムに登録申請中です。

平成27年植木協会カレンダー用画像大募集!

～あなたの植木をPRしませんか？～

新樹種部会では協会委託のもとカレンダー編集・作成を行っています。

協会カレンダーで御社商品をPRしませんか？

カレンダーに掲載された場合、画像謝礼金1万円をお渡します。

おまけに、関係団体および造園業界で広くPRでき、カレンダーのみにとどまらず、緑化通信や各種広報資料で外部に披露される機会が多くあるという様々な特典があります。

施工事例は大歓迎！

御社の園場から、都会の高層ビル、マンション、個人のお庭へお嫁入りし、活き活きと成長している植物の画像など、ぜひお寄せください。これは！という良い写真がありましたら、随时受付しておりますので、是非ご協力よろしくお願いします。多数のみなさんの御応募をお待ちしております。

【応募要領】

- 写真はスライドのポジか、デジカメの場合は1MB以上でピントの合った写真。
- 応募された写真は編集委員会で選択して採用を決めさせて戴きます。
- 送り先は植木協会・カレンダー担当宛にメールまたはCDで送付。
- 各画像ファイルには、「学名(和名)所有者」を明記してください。



お知らせ

九州ブロック夏季研修会

「掘り取り荷造り、剪定講習会」及び「資材・機材の展示会」のご案内
(一社)日本植木協会九州ブロック ブロック長 二村 沢行

日頃から植木生産で生業を立てている我々が、今一度技術の向上と伝統の継続の為に、掘り取りや剪定の技術講習会を下記のように開催する運びとなりました。そこで、日頃から御世話を成っております各社の皆様に資材・機材の紹介をして頂き、また参加者との検討会及び懇親会の時間も作っておりますので、是非共に参加頂きますようご案内申し上げます。

1. 日 時

平成26年6月7日 土曜日

受付 10:30~
展示会 11:00~16:00
講習会・討論会 12:00~17:30
懇親会 19:00~
受付 8:00~
講習会 8:30~12:00 (14:00)
展示会 8:30~15:00

2. 場 所

講習会・展示会・討論会

小郡市井上 有山崎瑞松園 TEL 0942-72-2624
懇親会 久留米市 湯の坂久留米温泉 TEL 0942-33-4126

3. 会 費

研修会、検討会 九州ブロック会員外 1,000円
懇親会 参加者一人につき 4,000円

4. 内 容

高木・中木の掘り取り講習
常緑樹・落葉樹の剪定講習
資材・機材の展示

5. 対象者

植木協会会員と従業員及び生産者など(約100~150名)

6. 申し込み先・問合せ先

九州ブロック 事務局 山崎 TEL 0942-72-2624 FAX 0942-73-2500

7. 申し込み締め切り

平成26年5月15日まで

うえき・よろず相談

[質問] 「水やりの際に、葉っぱに水をかける人とかけない人、両方いますが、本当はどちらが良いでしょう?」

[回答]

この質問には、2つの回答があると思います。つまり、葉っぱにかけても問題のない植物であれば、葉っぱに水をかけない方が良い植物もあるということです。

一般的に観葉植物は、直接葉っぱに水をかけてあまり問題はないでしょう。ただし、アジアンタムのようなデリケートな植物は、株元に水かけをして霧吹きなどで葉水をかける方が良いでしょう。花鉢や花の咲く植物では、直接蕾や株元に水がかかることを嫌がる植物があります。代表的なものとして、冬の定番植物シクラメンなどがそれに当たります。株元から次から次へと花をあげ長いこと観賞できますが、葉の上から水を直接かけてしまうと蕾にかかってしまい花芽が腐る原因になります、葉を持ち上げ土に直接かけるように心がけましょう。

もう一つ重要なことは、水かけをする時間帯です。

冬の間は、午前中のわりあい温かい時間帯でかけ過ぎないようにし、乾き気味にするのが良いでしょう。温かくなる春以降は、水やりの回数を少しづつ増やしますが、かけ過ぎには注意が必要です。乾いてきたらたっぷりとあげましょう。

夏の水やりが意外と難しいものです。日中の暑い時間帯をさけ、早朝か夕方の暑さの時を越した頃が良いでしょう。日中にあげると高温で根腐れを起こしやすくなります。

一方で植木の生産となると、また条件が変わります。コンテナ栽培においては生産性も重視しなければなりません。種類ごとに環境を変えた水やりが必要になりますが、可能なところでは自動灌水で葉っぱの上からかけてしまします。花鉢の生産では、底面給水やチューブ灌水などのやり方で直接葉にかかるないようにしています。

以上のようにどちらを好む植物なのかを把握して植物にあった水やりをすることが重要です。

回答協力: 千葉県 農事組合法人成田ナーセリー 黒田剛 氏

うえき・よろず相談では、質問・疑問を募集中!

日頃不思議に思っていること、困っていること、聞いてみたいことなどが解決できる好機会です。ご自由にお寄せ下さい。

下記の質問へのご回答を広く募集中です! ご回答者には寸志を差し上げております。

6月号用質問 回答〆切 5月16日

→「夏場、芝に使用できる除草剤はありますか?」

*植木協会ホームページ・会員限定情報・掲示板でご投稿いただくか、事務局 緑化通信担当 (kawamura@ueki.or.jp) までお寄せください。

新樹種部会

イワガラミ ‘ムーンライト’

Schizophagma hydrangeoides ‘Moonlight’



- *ユキノシタ科、蔓性落葉広葉樹。
- *葉に月明かりで映しだされたような繊細な斑が、上品で穏和な印象がある。
- *ツルから多数の気根を出して吸着し這い上がる。
- *ツルアジサイと良く似ているが、装飾花が一枚で、葉の鋸歯が鋭く荒い事で見分ける事ができる。
- *積雪や乾寒風に強い。

協会カレンダー Trees & Shrubs2014 5~6月販売

会員動向

新樹種部会・退会

▷有大森樹芸園(熊本県)
大森信哉
▷大分植木(大分県)
柳井陽一

代表者変更

▷小岩井農牧(岩手県)
(新)足澤 匠
(旧)澤藤直樹

代表者・メールアドレス・HPアドレス変更

▷上手緑化(長野県)
(新)代表者:百瀬今朝信
メールアドレス:
info@kamite.com

HPアドレス:

http://www.kamite.com

(旧)代表者:百瀬今朝春

計 報

菅原ミツ様(岩手県)
(株)みちのくビオトープ
(菅原 豊氏母)
平成26年3月23日没 享年93歳

柳眞佐子様(千葉県)
(株)柳常八緑化(柳 文子氏母)
平成26年3月3日没 享年88歳

百瀬今朝春様(長野県)
上手緑化(百瀬今朝信氏父)
平成26年3月3日 享年81歳

溝口一義様(愛知県)
(有)溝一園芸(溝口嘉之氏父)
平成26年3月27日 享年84歳

農林水産省消費・安全局植物防疫課からのお知らせ

葉にドーナツ状の輪があるウメなどを探しています!!
ウメ輪紋ウイルスに感染している可能性があります。



提供: 植物防疫所 (無断転載を禁ずる)

- ウメ輪紋ウイルスに感染したウメでは、葉にドーナツ状の輪(輪紋)などが生じます。
- モモなどでは、葉脈に沿って緑色の薄い部分(退緑斑紋)が生じます。
- 症状は、新緑の時期(春に出た葉が開いた頃)が一番明瞭です。

写真のような症状がある場合には、お近くの農林水産省植物防疫所や都道府県の病害虫防除所にご連絡下さい。

ウメ輪紋ウイルス(プラムポックスウイルス(PPV))について

- PPVは、ウメ、スマモ、アンズ、モモ、ユスラウメなどに感染し、欧州では、果実が成熟前に落果するなどにより大きな被害が生じているとの報告があります。
- この病気は、種子や果実から他の植物に感染することはありません。
- 農林水産省では、植物防疫法に基づき、感染植物や感染するおそれのある植物の移動規制を行ふとともに、感染植物の伐採を行う緊急防除を実施中です。
- ヒトや動物に感染するおそれはありませんので、果実を食べても健康に影響はありません。

